



山形市立第一中学校
第3学年通信
2025/1/8
文責 武田明美

「受験、卒業に向かって 3学期は46日」

1月8日（水）三学期始業式をPC室からリモートで行いました。3年生を代表して、4組高木昂汰さんが三学期の抱負を発表しました。発表した内容を紹介します。

卒業まで頑張りたいこと

高木 昂汰

私は、卒業まで頑張りたいことが2つあります。

1つ目は、受験勉強です。一月中旬から私立入試が始まり、3月には公立校入試があります。私は、受験へ向けて、自分で決めた学習時間を守ることを意識しています。去年、体育祭実行委員長や保健委員長を務めて、「やればできる」ということを学びました。自分で決めたことを守れば成果が出せると信じています。また、受験本番で体調を崩したら、自分の実力を発揮することができません。去年、定期テスト期間中に体調を崩してしまい、思うように勉強できませんでした。そのため、毎日の早寝、早起きはもちろん、手洗いうがいをしっかり行って、体調を整え受験に臨み、志望校への入学を勝ち取りたいです。

2つ目は、卒業までの学校生活を充実させることです。4月からそれぞれが別々の進路に進むことになります。そのために1日1日を大切にしていきたいです。まずは、授業で教え合いなどをして協力し、みんなで高め合っていきたいです。また、3年間お世話になった一中の校舎への感謝として、清掃をしっかり行い、今以上にきれいにしたいです。そして、一中生全員が明るく元気に過ごせるように、あいさつにも力を入れていきたいです。

私は以上のことを3学期の抱負として頑張っていきたいです。

2025年は^{みどし}巳年です。巳はへびを表します。へびはその姿や形から、気持ち悪いと思われがちですが、新しい自分に生まれ変わる、幸せな未来をつかむという意味をもっているそうです。それは、へびが脱皮を繰り返して大きくなることから、「復活」と「再生」の象徴でもあります。みなさんは、3月に一中を巣立ち、4月から自分で切り拓いた進路を歩んでいきます。新しい場所で、新しい仲間に出会い、そして、新しい自分に出会える素敵な年になるでしょう。今は、寒さが厳しく、受験という試練が待ち受けているためつらさが先行していると思いますが、その先には、頑張ったぶんだけ、良いことがきっと待っているはずです。冬が永遠に続くのではなく、必ず春はやってきます。一人一人の希望する進路が実現できることを願っています。応援しています。また、はやぶさ学年みんなで、常日頃から風邪などの感染症対策を確実に行っていきましょう。

